



「笹部地域開発、全体像の明示を」 越田市長に山下自治会大蔵班が4点申し入れ

たんぽぽだより既報の、笹部の「宅地開発工事」について、9月10日の第3回説明会(山下町と下財町)に参加させて頂きましたが、その後、どうなっているか、案じていたところ、当該地域の山下自治会大蔵班の方が、越田謙治郎市長へ申し入れをした後、共産党議員団控室に寄つていただきました。

部分でなく全体の説明を

申し入れは「笹部地域開発計画の全体を近隣住民に明示する指導を求める」もの。開発許可を出す川西市として、開発業者である「たいせい建設兵庫株式会社」に対して、部分的な開発計画を周辺にだけ伝えるのではなく、全体の計画を近隣住民全てに説明するべきだという内容です。

第3回目の説明会でも、情報が届いていない方や自治会に入っていない方が参加され、説明会が混乱する場面がありました。とても広大な面積で行われる開発なのに、全体像を含め詳細が明らかにされていない、情報提供の範囲や内容が少ないことなど、まだまだ周辺住民の安心につなげていかないことは、この間の説明会でも明らかです。

たいせい建設が、今後の説明会は個別にしか実施しないとされているため、市に申し入れることになったそうです。

影響を詳細に、住民全体に

要望事項としては、①笹部地域開発計画の全体と今後の計画を周辺住民全員に示すこと。②開発にもなう地域への影響を、日照権や騒音振動、道路通行、生物多様性への影響など、事前環境影響評価を行うこと。③造成工事と建設工事車両の通行経路と台数を開発計画全体のものを示すこと。④住民説明会を、自治会未加入者を含む全員を対象に告知し、東谷公民館など公

共施設でおこなうこと、となつています。

9月10日の説明会は、笹部2丁目C街区(約3.6m、戸建て76区画)に関してでしたが、ほかにA街区、B街区の開発が行われます。これらの街区とその周辺の方に開発の情報が十分届いているでしょうか？また、AとBとCに囲まれたたんぽぽは開発されないのでしょうか？

(申し入れ書の内容などについて、許可を頂いて掲載させて頂いています)

「知らなかった」は困る

今、自分が住んでいる住宅への影響を知らない知らされない間に進み、日常生活が大きく影響を受けることになったりでは、困ります。丁寧な情報開示と説明責任、課題がある時の手だてなどについて、業者は実行する責任がありますし、市役所は開発許可を出す責任、住民が安心して住み続けることができるまちづくりを推進する役割があります。

住民同士も情報を共有して、住み続けることができる安心・安全な地域をつくっていききたいですね。



黒田事務所前
たんぽぽだよりは
ご自由にお持ち帰り
ください

フリースクール
の見学、校長先生
と懇談させて頂き
ました



前進座
「あかんべえ」
こむら潤さんと

「改憲 NO！」
市民アクション
バルーン



デンマークからの友人と
エネルギーと食料を自国で
確保することが国家の役割。
国益・国防そのもの



戦争犠牲者追悼式

